

# 2023年3月期 決算説明資料



JTP 株式会社

Connect to the Future

2023年6月8日



© JTP Co., Ltd. All Rights Reserved.

# I. 事業概要



# 事業概要と売上高構成比



## デジタルイノベーション

- AI関連サービス
- 内部脅威対策セキュリティ

## 教育ソリューション

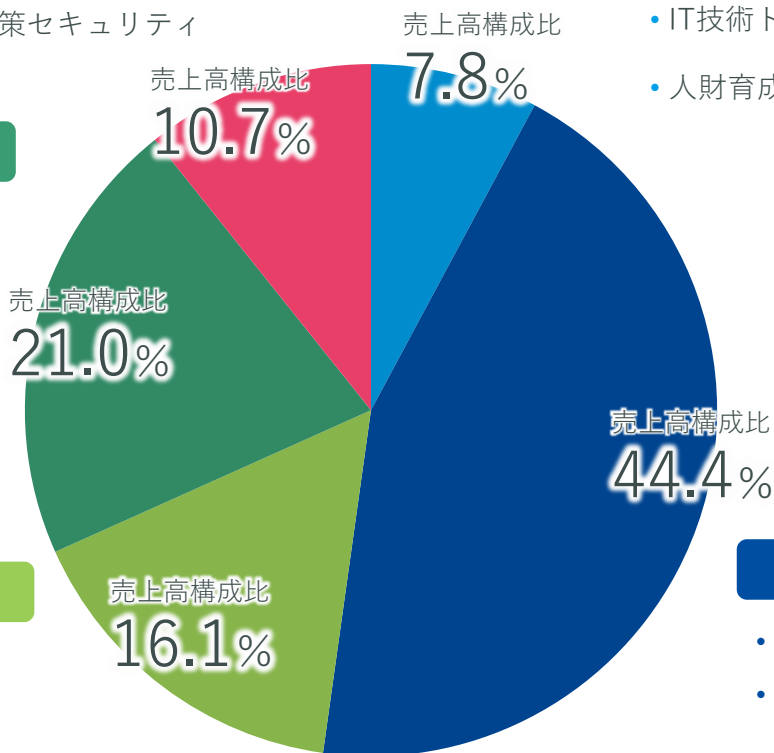
- IT技術トレーニング
- 人財育成コンサルティング

## ライフサイエンスサービス

- 医療機器、化学分析装置の保守サービス
- 薬機法コンサルティングサービス
- ライフサイエンスICTソリューション

## 西日本ソリューション

- 西日本地域におけるICTソリューション
- 西日本地域におけるライフサイエンスサービス



## ICTソリューション

- ITシステムの設計・構築
- ITシステムの運用・保守

西日本の定義：  
愛知から以西（岐阜・福井を含む）の顧客取引を示す



## II. 2023年3月期 決算実績



# 2023年3月期 決算のポイント



- ✔ 第3四半期の終盤以降、特にアメリカの景気減速の影響を受け、業績拡大ペースが減速
- ✔ 上記影響はあったものの売上高・営業利益・純利益ともに、前年同期比で増収増益
- ✔ 次期にむけた新サービス開発も順調に進捗

# 2023年3月期 決算サマリー



(単位：百万円)

	2022年3月期 通期	2023年3月期 通期			
	実績	実績	前年比 (%)	業績予想	達成率 (%)
売上高	7,040	<b>7,381</b>	+ 4.8%	7,500	98.4%
営業利益	435	<b>464</b>	+ 6.7%	550	84.4%
経常利益	470	<b>476</b>	+ 1.2%	550	86.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	253	<b>315</b>	+ 24.4%	330	95.5%

# 各事業セグメント売上高



(単位：百万円)

	2022年3月期 通期	2023年3月期 通期			
	実績	実績	前年同期比 (%)	業績予想	達成率 (%)
教育ソリューション	598	<b>578</b>	△3.4%	569	101.6%
ICTソリューション	3,286	<b>3,275</b>	△0.3%	3,265	100.3%
西日本ソリューション	1,025	<b>1,186</b>	+ 15.7%	1,143	103.8%
ライフサイエンスサービス	1,389	<b>1,548</b>	+ 11.5%	1,516	102.1%
デジタルイノベーション	739	<b>792</b>	7.1%	1,004	78.9%
その他	-	-	-	-	-
合計	<b>7,040</b>	<b>7,381</b>	+ 4.8%	<b>7,500</b>	<b>98.4%</b>

# 各事業セグメント営業利益



(単位：百万円)

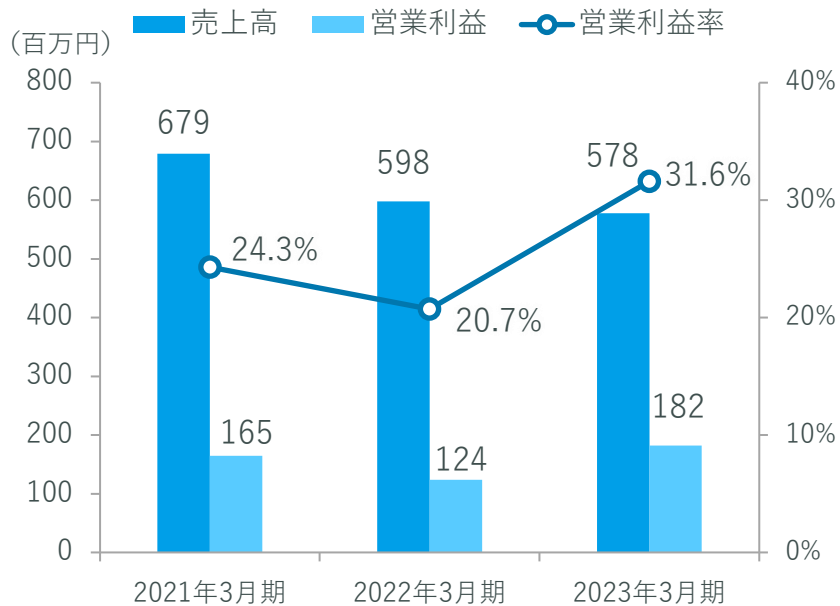
	2022年3月期 通期	2023年3月期 通期			
	実績	実績	前年同期比 (%)	業績予想	達成率 (%)
教育ソリューション	124	<b>182</b>	+46.5%	193	94.3%
ICTソリューション	662	<b>584</b>	△11.6%	662	88.2%
西日本ソリューション	224	<b>228</b>	+1.8%	231	98.7%
ライフサイエンスサービス	156	<b>253</b>	+62.6%	256	98.8%
デジタルイノベーション	△77	△ <b>57</b>	-	△37	-
その他	△17	△ <b>17</b>	-	△18	-
全社	△636	△ <b>709</b>	-	△738	-
合計	<b>435</b>	<b>464</b>	+6.7%	<b>550</b>	<b>84.4%</b>



# セグメント別業績推移（教育ソリューション/ ICTソリューション）

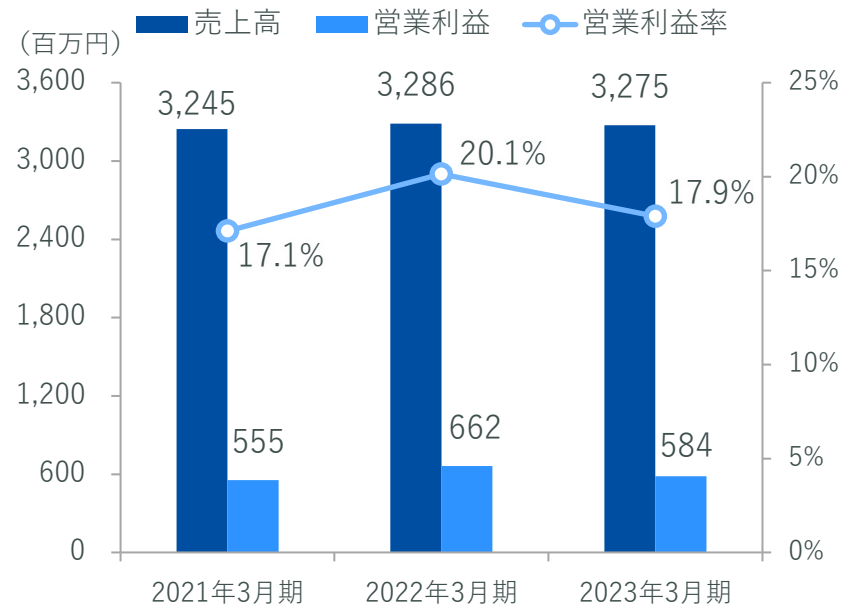
## 教育ソリューション

- 固定費削減施策により利益改善
- ラーニングプラットフォーム（Learning Booster）の開発とリリース



## ICTソリューション

- ユーザー顧客との直接ビジネスの拡大
- エンジニア採用と育成及び、営業・マーケティング活動を強化

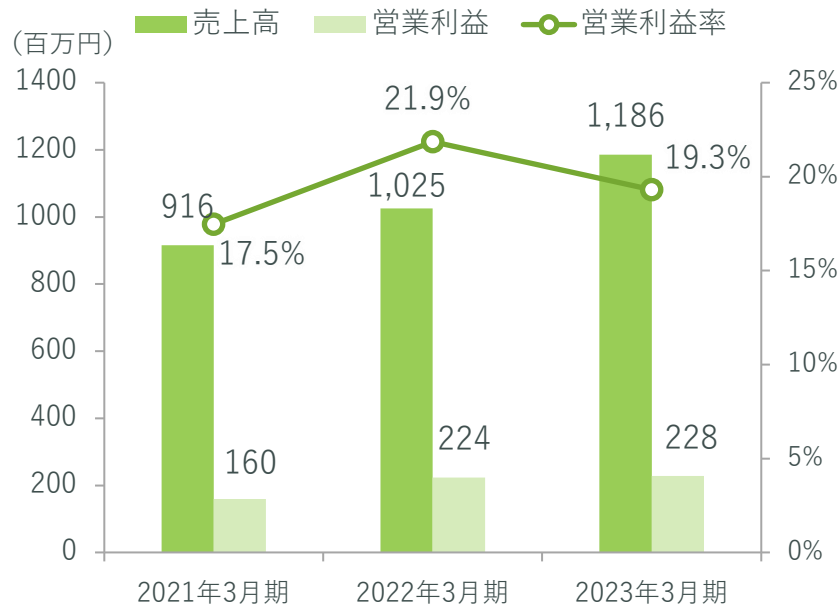


# セグメント別業績推移 (西日本ソリューション/ライフサイエンス)



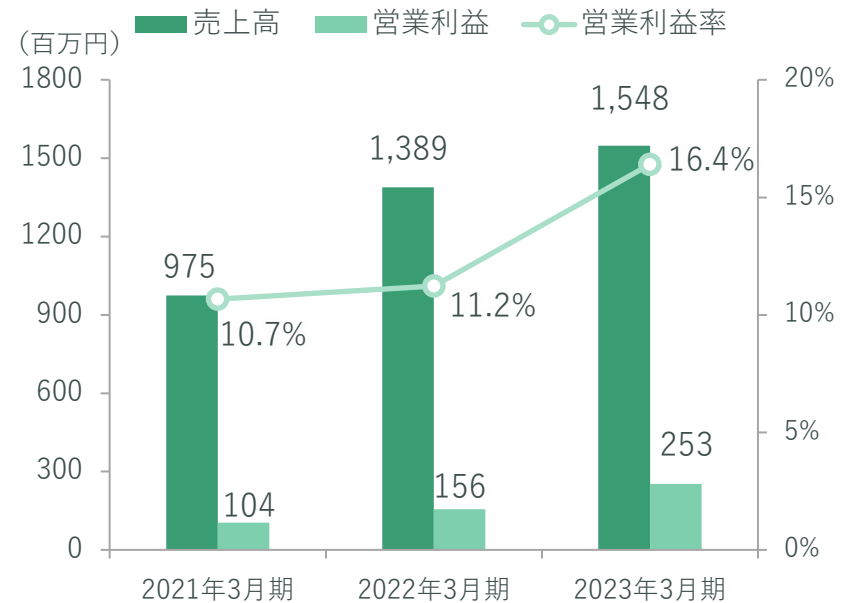
## 西日本ソリューション

- 九州地区及び大阪地区のICT運用案件が順調に拡大
- 対象エリアにおける人件費の高騰により営業利益率は低下



## ライフサイエンスサービス

- スポット案件の継続受注が売上・利益に貢献
- ライフサイエンスICTサービスも順調に拡大



# セグメント別業績推移 (デジタルイノベーション/その他)

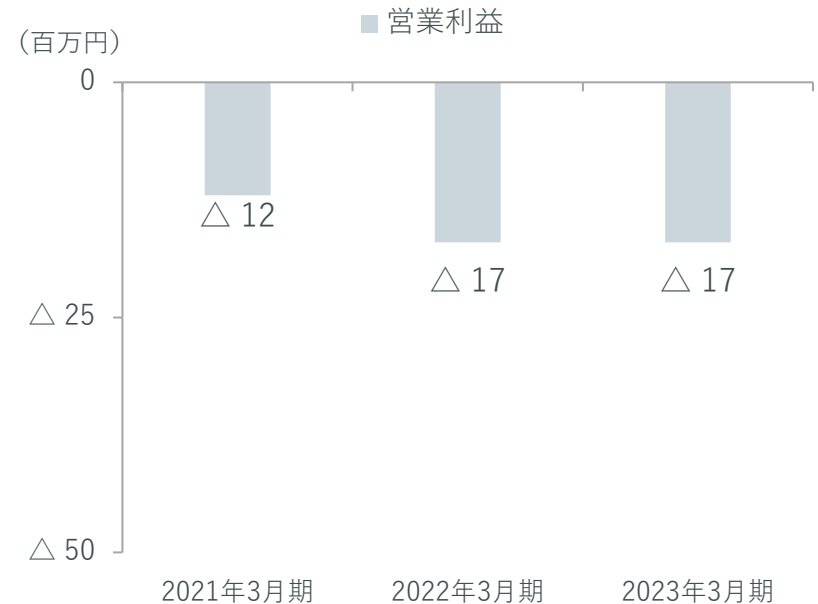
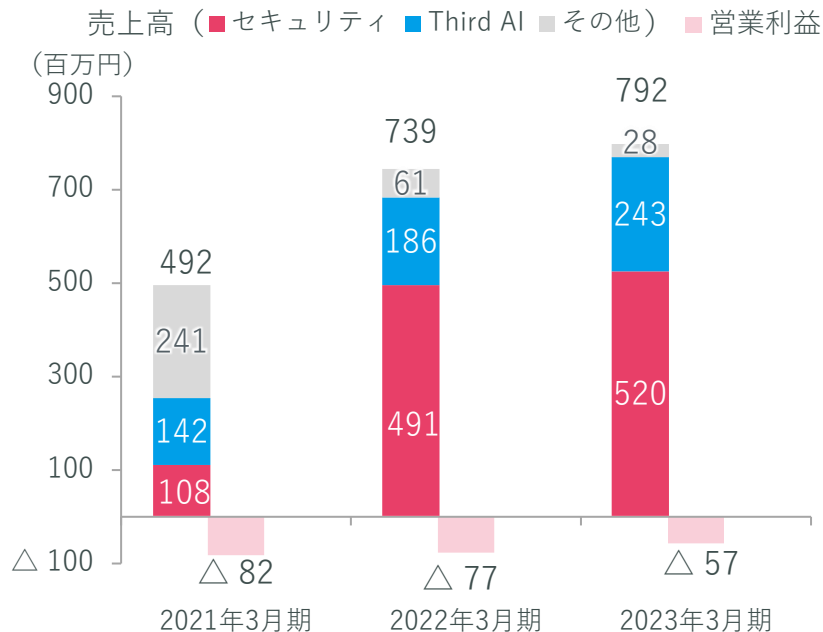


## デジタルイノベーション

- ThirdAI、レコメンドAIの受注拡大
- セキュリティ案件の継続受注
- 新たなサービス創出のための開発投資継続

## その他 (海外事業等)

- ITエンジニア不足の日本企業と海外のエンジニアをつなぐグローバルIT人財マッチングサービス「Reinforce HR」の提供を開始



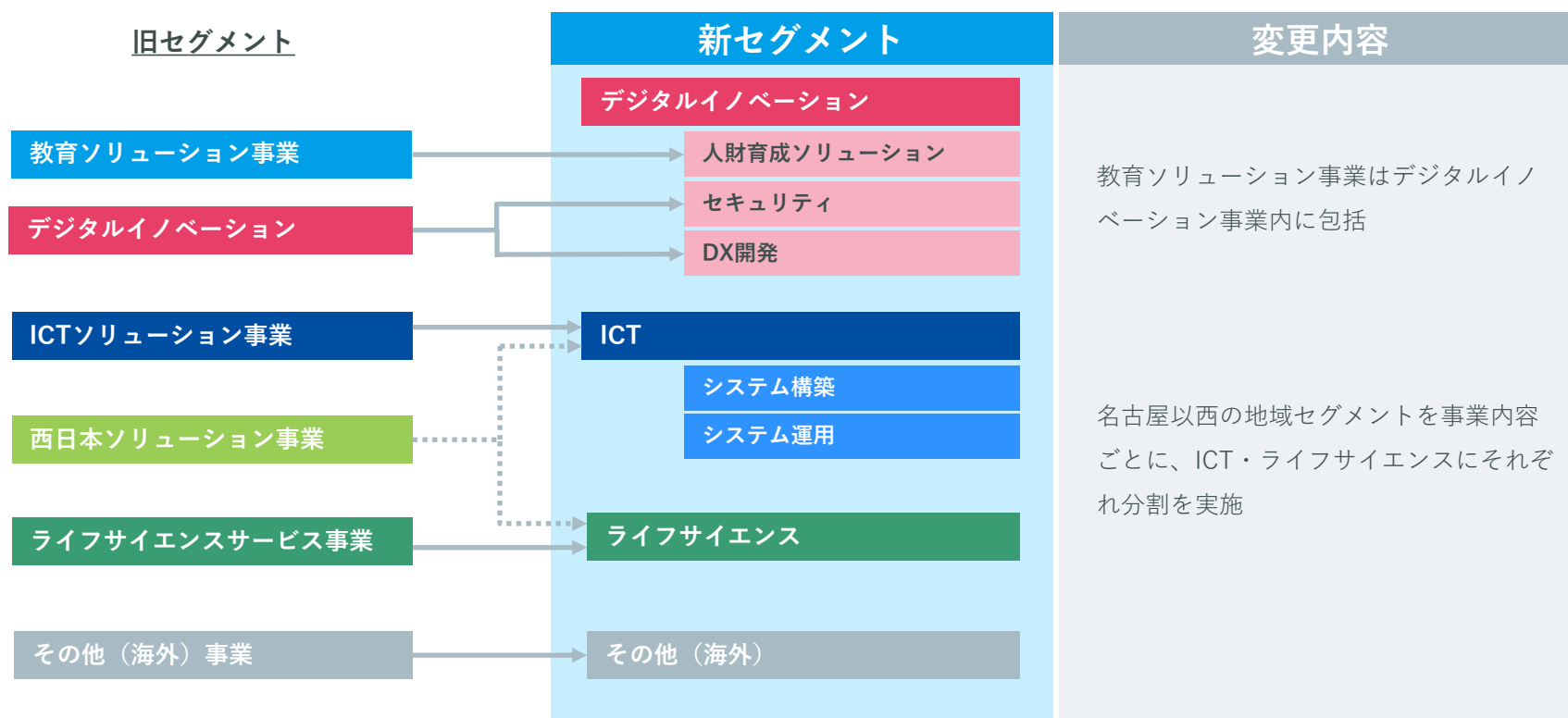
# Ⅲ. 2024年3月期 業績予想



# 事業セグメント変更



知恵を集約化し顧客ニーズに対応するため、4つの事業セグメントへ変更



# 2024年3月期 業績予想の概要



- ✔ 地政学リスクの継続や金融不安などがあるものの、DX投資意欲は底堅くニーズは引き続き高い状態が続くと予想
- ✔ 前期投資事業を成長事業として収益化を達成
- ✔ 新規事業への継続投資

# 2024年3月期 決算予想サマリー（個別）



➤ 中期での事業拡大に向けて、今期は利益改善に取り組み、足元を固める

	2023年3月期 通期	2024年3月期 通期	
	実績	予想	予想比 (%)
(単位：百万円)			
売上高	7,381	7,750	+5.0%
営業利益	455	550	+20.9%
経常利益	466	550	+18.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	305	358	+17.4%

当社の連結子会社であるJapan Third Party of Americas,Inc.について本日(2023年5月15日付)「子会社の解散・清算及び非連結決算への移行に関するお知らせ」を公表いたしました。これに伴い2024年3月期においては非連結決算へ移行するため、連結業績予想は開示せず、個別業績予想のみを記載しております。(以降ページも同様)



# 各事業セグメント売上高予想



➤➤ 成長事業（人財育成、セキュリティ、システム運用）に注力

## ➤➤ 事業セグメント売上高

(単位：百万円)

		2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	前期比 (%)
デジタル イノベーション	人財育成 ソリューション	578	550	△4.8%
	セキュリティ	525	665	+26.7%
	DX開発	271	326	+20.3%
ICT	システム構築	1,378	1,393	+1.1%
	システム運用	2,849	3,093	+8.6%
ライフサイエンス		1,777	1,723	△3.0%
その他		0	0	0
合計		7,381	7,750	+5.0%



# 各事業セグメント営業利益予想



➤➤ 新規事業（DX開発、ライフサイエンス）への継続投資

## ➤➤ 事業セグメント利益

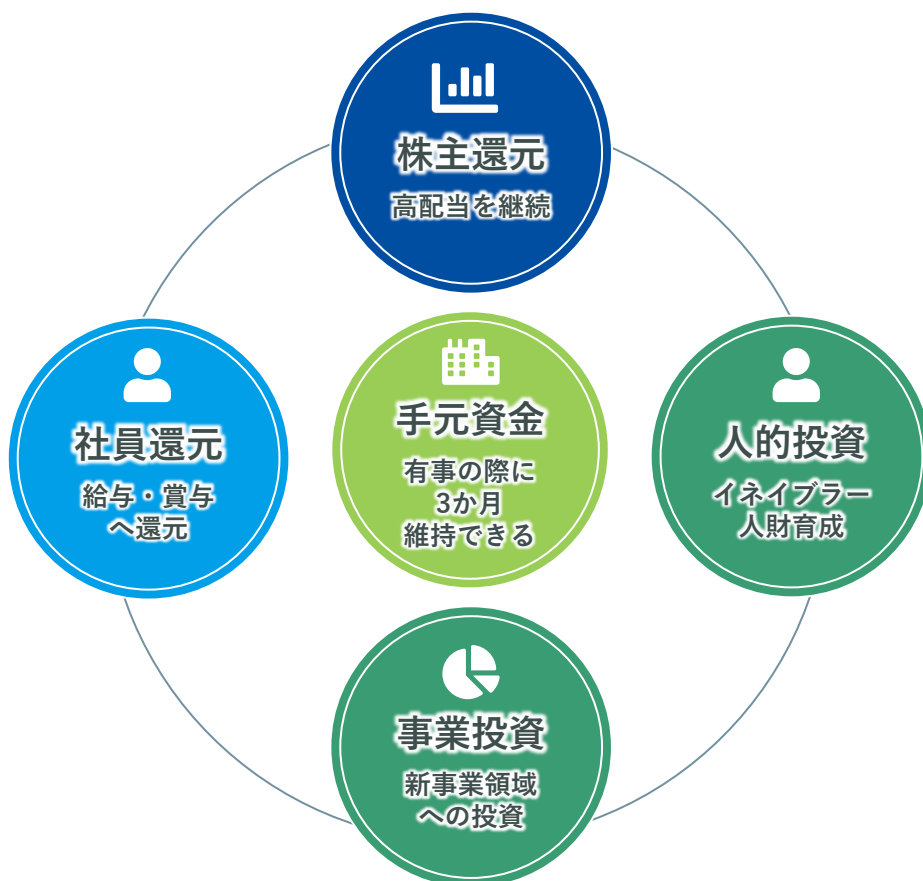
(単位：百万円)

		2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	前期比 (%)
デジタル イノベーション	人財育成 ソリューション	182	162	△11.0%
	セキュリティ	△29	0	-%
	DX開発	△53	△52	-%
ICT	システム構築	205	320	+56.1%
	システム運用	586	600	+2.4%
ライフサイエンス		301	270	△10.3%
その他（海外）		△17	△17	-%
全社		△709	△733	-%
合計		464	550	+18.5%

# 株主還元



➤ 一定規模の手元資金を残したうえで、残りを株主還元、社員給与還元、事業投資、人財育成投資に配分する方針に基づき、株主還元を継続



	2022年 3月期 実績	2023年 3月期 実績	2024年 3月期 予想
配当金 (年間)	21.0円	31.0円	25.0円
(期末配当)	21.0円	21.0円	20.0円
(記念配当)	-	10.0円	-
(中間配当)	-	-	5円
配当性向	46.3%	55.1%	42.5%

# Ⅲ. 第1次中期経営計画 の振り返り

# 第1次中期経営計画の振り返り



## 第1次中期経営計画 (2021/3→2023/3)

基本方針  
(長期目標)

労働集約型ビジネスから  
**知識集約型ビジネスへの転換**をはかることで  
中長期で**営業利益10億円**を目指す

最終年度  
目標

売上高

67-70億円

営業利益

5.5-6.9億円

# 第1次中期経営計画の振り返り



- ✓ 増収増益で推移したものの、最終年度の営業利益は未達

## 定量目標

最終年度  
定量目標

2023年3月期  
達成状況

売上高  
67-70億円



◎ 73.8億円

営業利益  
5.5-6.9億円



▲ 4.6億円

# 第1次中期経営計画の振り返り



- ✓ 増収増益で推移したものの、最終年度の営業利益は未達

## 成長に向けたテーマ

### 策定時テーマ

- AI、自動化技術の推進と自社サービスの確立
- ライフサイエンス分野における事業拡大
- グローバルビジネスへの挑戦



### 評価

- コロナ禍によるDXの後押しもあり、**30件**の新サービスを確立
- ICT × ライフサイエンスの複合サービスが着実拡大（医療・製薬業界におけるDX化に貢献）

# IV. 第2次中期経営計画



# 私たちの目指す姿と第二次中期経営計画の位置づけ



## JTPが2030年に目指す姿

これまでの技術集団から  
”事業変革とユーザ企業の自走”を促す  
「業界随一のイネイブラー」となる



2030年

第3次  
中期経営計画  
2028-2030



2027年

## 第2次中期経営計画 2024-2027

“知恵集約型”のビジネス形態への  
完全な転換を目指し、第2次中期経営計画を策定

第1次中期経営計画  
2021-2023

知恵集約型への  
転換を標ぼう



2023年





# JTPミッションとイネイブラー（理想のエンジニア像）



Mission  
使命

顧客が描く未来を技術で繋ぐ

“Connect to the future”



「ユーザが描く未来」をサポートする

イネイブラー



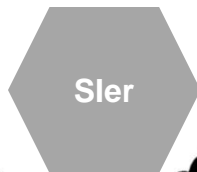
# イネイブラーとは？

Enabler  
ビジネススタンス

「ユーザが描く未来」をサポートする

## イネイブラー

顧客伴走型のサービス提供  
顧客の自走をサポートする  
中立な立場で顧客をサポート





## Next Decade for Road to Enablers ～業界随一のイネイブラーを目指して～

第2次中期経営計画 (2024/3→2027/3)

イネイブラー

Enabler

としての今後の注力分野



DX



セキュリティ



ライフ  
サイエンス



次世代  
システム運用

# 第2次中期経営計画の定量目標



(単位：億円)	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想   計画	2025年3月期 計画	2026年3月期 計画	2027年3月期 計画
売上高	73	77	78~83	84~91	<b>92~100</b>
営業利益	4.6	5.5	5.5~6.9	6.1~7.8	<b>7.1~10</b>
営業利益率 (%)	6.3	7.1	7.1~8.4	7.3~8.6	<b>7.7~10.0</b>



# 第2次中期経営計画 セグメント別 (デジタルイノベーション)



	業績目標	KPI	施策
人材育成 ソリューション	2027年3月期売上高目標： <b>7.5-8.4</b> 億円  2027年3月期営業利益目標： <b>2.7-3.1</b> 億円	ラーニングプラットフォーム利用者数累計 <b>3万人以上</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラーニングプラットフォーム (LearningBooster) の拡販</li> <li>人財育成コンサルティングサービス開発</li> </ul>
セキュリティ	2027年3月期売上高目標： <b>8.6-10.1</b> 億円  2027年3月期営業利益目標： <b>0.9-1.1</b> 億円	内部脅威対策分野で <b>No.1</b> スペシャリスト集団	<ul style="list-style-type: none"> <li>セキュリティソリューションの拡販</li> <li>マルチクラウドセキュリティのコンサルタント事業化</li> </ul>
DX開発	2027年3月期売上高目標： <b>5.4-6.9</b> 億円  2027年3月期営業利益目標： <b>0.8-1.4</b> 億円	最新技術活用のサービスリリースを年間 <b>4本</b> 実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>業界に特化したThirdAIの派生サービスリリース</li> <li>最新技術の積極的な評価・活用</li> <li>顧客へのAI実装を通じて得た知見を自社サービスであるThirdAIに還元 (更に進化)</li> </ul>

# 第2次中期経営計画 セグメント別 (ICTソリューション事業)



	業績目標	KPI	施策
システム構築	2027年3月期売上高目標： <b>16.8-17.6</b> 億円  2027年3月期営業利益目標： <b>3.6-3.8</b> 億円	ユーザー顧客との直接取引売上構成比 <b>50%以上</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DX型プラットフォーム(*)の構築支援</li> <li>コンサルティング領域へ挑戦とコンサル(イネイブラー)の育成</li> </ul>
システム運用	2027年3月期売上高目標： <b>33-34.3</b> 億円  2027年3月期営業利益目標： <b>6.5-7.5</b> 億円	次世代システム運用(自社サービス) 売上比率 <b>50%以上</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度化するセキュリティ要件に対応したシステム運用</li> <li>労働集約型事業からストックビジネス(Kyrios)のビジネスモデルの加速</li> <li>DX型プラットフォームの運用支援(次世代システム運用)</li> </ul>



(\*) **DX型プラットフォーム：**

- 顧客がDXを実現するために必要な、テクノロジーやサービスを提供するプラットフォーム全般をさす。

# 第2次中期経営計画 セグメント別 (ライフサイエンス事業)



	業績目標	KPI	施策
ライフサイエンス事業	2027年3月期売上高目標： <b>21.2-22.5</b> 億円  2027年3月期売上高目標： <b>3.3-3.5</b> 億円	非ハードウェアサービス <sup>(*)</sup> 売上構成率  <b>40%以上</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを活用した遠隔医療関連、医療従事者負担軽減に繋がるサービスを産学連携による共同開発</li> <li>法規制対応コンサルティング</li> <li>ライフサイエンス分野の未開拓領域への挑戦（デジタル治療、プログラム医療機器等）</li> </ul>



**(\*) 非ハードウェアサービス：**

- ・海外医療機器メーカー向けの日本市場参入をサポートするコンサルティングサービス
- ・ライフサイエンス分野におけるICTを活用したソリューション

**(\*) ハードウェアサービス：**

- ・医療機器、化学分析装置などの据付、点検、校正、修理等の保守サービス



# 人的資本に関する考え方



人的資本は当社が成長を遂げていくうえで最重要資本と位置づけ。事業を体現するイネイブラー人財の育成、イノベーションと価値創出のための環境整備と文化の醸成、事業で培った育成ノウハウを組み合わせることで、「2030年の目指す姿」への到達を目指す

「ユーザーが描く未来」をサポートする

## イネイブラー人財の育成

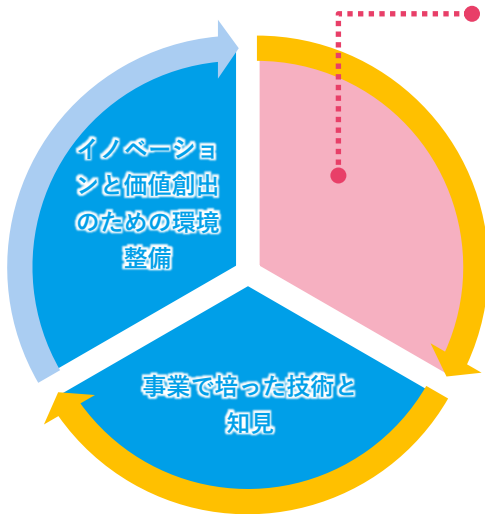
第2次中期経営計画期間における  
人的資本への投資総額（採用と育成）

約**2.5**億円（中計期間）を想定

イネイブラー人財の構成要素



2030年に目指す姿  
業界随一の  
イネイブラー





# 人的資本（イネイブラー人財の育成）



JTPの事業を体現するイネイブラー人財になりうる、  
コンサルの育成に再度挑戦。  
また新たなPMの育成にも、引き続き注力。

## イネイブラー人財が活躍する領域

### コンサルタント：**20名**

企業が持つ潜在的なビジネスの課題をITで解決に導くための設計業務を担当。IT知識に加えて業界に精通した深い知見と経験を有する（IT知見+業務コンサルタント寄りの立ち位置）

### PM（プロジェクトマネージャー）：**150名**

顧客から要望を受けたものを理解し、プロジェクトの成功を導くために広範囲の仕事を行う（プロジェクトの品質、コスト、納期を守り推進する実行役）

2030年に目指す姿

業界随一の  
イネイブラー

川上  
（上流工程）

コンサル

PM  
プロジェクト  
マネージャー

エンジニア

外部  
パートナー

イネイブラーとしての進化

川下（下流工程）





## IV. 参考資料 (中期経営計画関連)

# 第1次中期経営計画の振り返り（事業別）



## 事業セグメント売上高

(単位：億円)	2021年3月期 計画	2021年3月期 実績	2022年3月期 計画	2022年3月期 実績	2023年3月期 計画	2023年3月期 実績
教育ソリューション	7	6.7	7	5.9	7	5
ICTソリューション	33	32.4	34	31.7	34~35	32
ライフサイエンスソリューション	9~10	9.7	10	13.8	10	11
西日本ソリューション	8	9.1	8~9	10.2	9	15
デジタルイノベーション	5~7	4.9	6~7	8.5	6~8	7
その他（海外）	0	0.1	0	0	1	0

## 事業セグメント利益

(単位：億円)	2021年3月期 計画	2021年3月期 実績	2022年3月期 計画	2022年3月期 実績	2023年3月期 計画	2023年3月期 実績
教育ソリューション	1.6	1.6	1.6	1.2	1.6	1.8
ICTソリューション	6.6~6.7	5.5	6.7~6.8	6.2	6.8~6.9	5.8
ライフサイエンスソリューション	1.2	1.0	1.3	1.5	1.6~1.8	2.2
西日本ソリューション	1.0	1.6	1.0	2.2	1.3~1.5	2.5
デジタルイノベーション	0.2~0.7	△0.8	0.5~1.5	△0.3	0.7~2.5	△0.5
その他（海外）	△0.1	△0.1	0	△0.1	0~0.1	△0.1
本社経費	△6.6~△6.5	△5.3	△7.2~△6.5	△6.3	△7.5~△6.5	△7.0



# 第2次中期経営計画数値目標（事業別）



## 事業セグメント売上高

(単位：百万円)

		2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	2025年3月期 計画	2026年3月期 計画	2027年3月期 計画
デジタルイノベーション	人財育成 ソリューション	578	550	591~657	671~746	756~840
	セキュリティ	525	665	729~792	782~873	860~1,019
	DX開発	271	326	386~442	451~526	542~690
ICT	システム構築	1,378	1,393	1,346~1,426	1,489~1,577	1,688~1,766
	システム運用	2,849	3,093	3,053~3,147	3,145~3,310	3,330~3,435
ライフサイエンス		1,777	1,723	1,755~1,853	1,870~2,090	2,125~2,250
その他		0	0	0	0	0
合計		7,381	7,750	7,861~8,316	8,408~9,122	9,251~10,000

## 事業セグメント利益

(単位：百万円)

		2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	2025年3月期 計画	2026年3月期 計画	2027年3月期 計画
デジタルイノベーション	人財育成 ソリューション	182	162	205~230	230~262	279~318
	セキュリティ	△29	0	48~53	78~87	95~113
	DX開発	△53	△52	0~5	16~57	83~146
ICT	システム構築	205	320	332~369	331~373	365~389
	システム運用	586	600	602~627	631~652	653~756
ライフサイエンス		301	270	299~315	324~342	336~358
その他（海外）		△17	△17	△17	△17	△17
全社		△711	△733	△911~△883	△983~△966	△1,083~ △1,063
合計		464	550	558~699	610~789	711~1,000



The background of the slide is a composite image. On the left, there is a blue-tinted aerial view of a city skyline, likely Tokyo, with various skyscrapers and greenery. Overlaid on this are numerous semi-transparent digital data visualization elements, including line graphs, bar charts, pie charts, and a central globe. The right side of the slide is a plain white background.

## IV. 参考資料 (決算説明関連)

# 財務分析 (B/S)



➤ 売上の増加に伴い現預金も増加し、総資産が増加

(単位：百万円)

	2022年3月期実績	2023年3月期実績	前期比
現預金	2,228	2,550	322
売掛金	1,278	1,200	△ 78
契約資産	215	117	△ 98
その他流動資産	300	307	7
有形固定資産	103	106	3
無形固定資産	24	56	32
投資その他の資産	417	454	37
<b>資産合計</b>	<b>4,569</b>	<b>4,793</b>	<b>224</b>
流動負債	1,147	1,195	48
固定負債	656	660	4
<b>負債合計</b>	<b>1,803</b>	<b>1,855</b>	<b>52</b>
株主資本	2,782	2,943	161
その他包括利益累計額	△17	△5	12
<b>純資産合計</b>	<b>2,765</b>	<b>2,937</b>	<b>172</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>4,569</b>	<b>4,793</b>	<b>224</b>

# 財務分析 (C/F)



➤➤ 営業活動CFの変動は売上債権の減少による

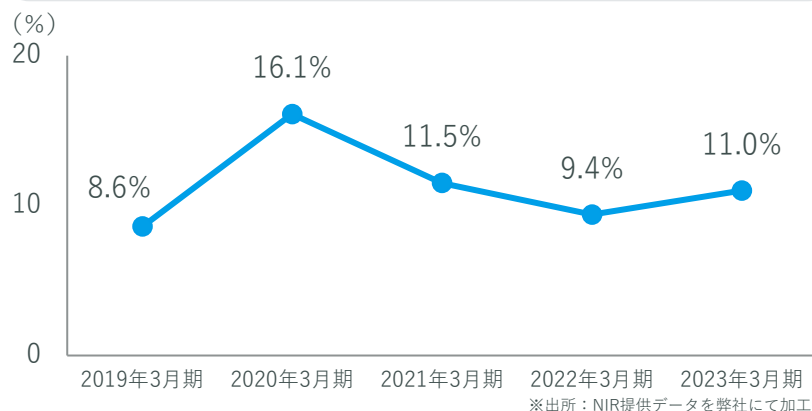
(単位：百万円)	2022年3月期実績	2023年3月期実績	前期比
営業活動による キャッシュ・フロー	503	<b>527</b>	24
投資活動による キャッシュ・フロー	△57	△ <b>35</b>	22
財務活動による キャッシュ・フロー	△118	△ <b>172</b>	△ 54
現金及び現金同等物の期首残高	1,899	<b>2,228</b>	329
現金及び現金同等物の期末残高	2,228	<b>2,550</b>	322

# 過去5期指標推移

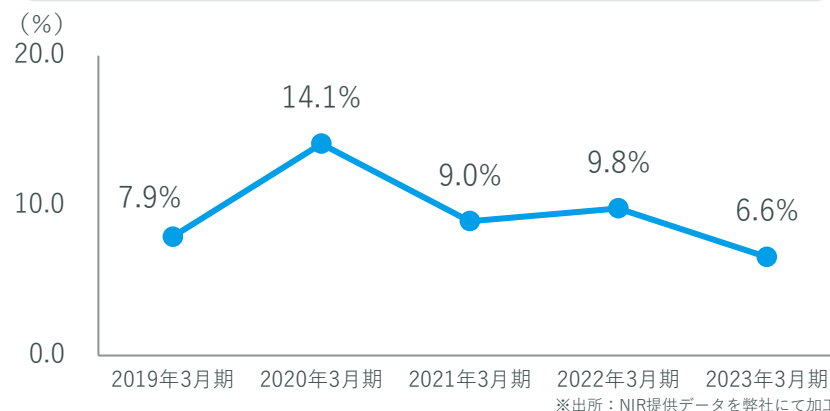


直近5期で、一定の自己資本比率を維持しながら、着実に利益を生む体質を構築。今後もこの水準を維持していく方針

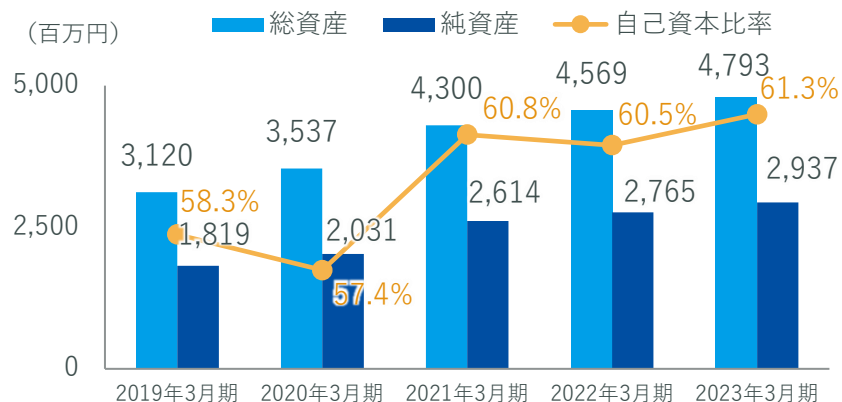
ROE（自己資本利益率）



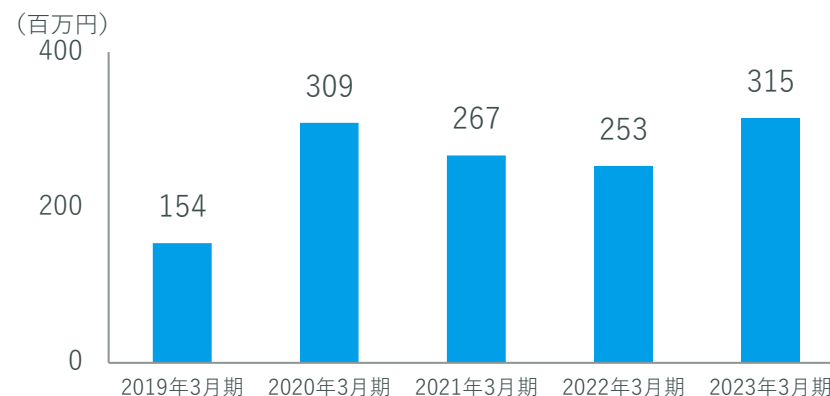
ROA（総資産利益率）



総資産・純資産・自己資本比率 (%)



当期純利益





# 会社概要



会社名	JTP株式会社 JTP Co.,Ltd.
本社	東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー 14階
国内拠点	栃木、東京(本社)、大阪、福岡、愛知
海外拠点	インド支店
施設	トレーニングセンター ・ 御殿山トレーニングセンター (東京・品川) テクニカルラボセンター ・ 東京テクニカルラボセンター (東京・三田) ・ 関西事業所テクニカルセンター (大阪・吹田)
資本金	795,475,000円
設立	1987年10月31日
従業員	435名 (2023年4月1日現在)
上場市場	東京証券取引所スタンダード 証券コード：2488 (2006年6月上場)
認定パートナー	Amazon Web Services APN アドバンスドコンサルティングパートナー IBM Silver Business Partner Microsoft Cloud Platform Gold コンピテンシー SoftBank AI エコシステム・パートナー LINE 公式パートナー



# 沿革



1987年	10月	日本サード・パーティ株式会社 設立
1992年	4月	本社にトレーニングセンターを設置、教育事業に進出
1994年	7月	東京テクニカルセンターを設置（現：東京テクニカルラボセンター）
1994年	11月	ライフサイエンス部門で化学分析機器サービス事業に進出
2003年	3月	ライフサイエンス部門で医療機器サービス事業に進出
2006年	6月	ジャスダック証券取引所に株式を上場
2011年	8月	ライフサイエンス部門で放射線事業（放射性物質測定機器の取り扱い）を開始
2012年	1月	放射能プレミアムドックセンターを開設
2012年	10月	世界標準のITスキルアセスメントテスト「GAIT」の提供を開始
2013年	6月	デジタルマーケティング事業に進出、「Wayin（ウェイイン）」の提供を開始
2014年	11月	グローバルIT人材育成支援の一環として、全国統一学生ICTテストにGAITの提供を開始
2015年	1月	ロボティクス事業に進出、ヒューマノイドロボット「NAO」に関するサービスを開始
2016年	11月	JTPインテグレーションセンターを開設
2017年	6月	AI事業に進出、「Third AI（サードアイ）」の提供を開始
2019年	4月	インド支店を開設し、インドでの事業展開を開始
2020年	5月	日商エレクトロニクス株式会社と資本業務提携を開始
2020年	12月	アースアイズ株式会社と資本業務提携を開始
2021年	4月	社名を「JTP株式会社」に変更



# 財務データ推移



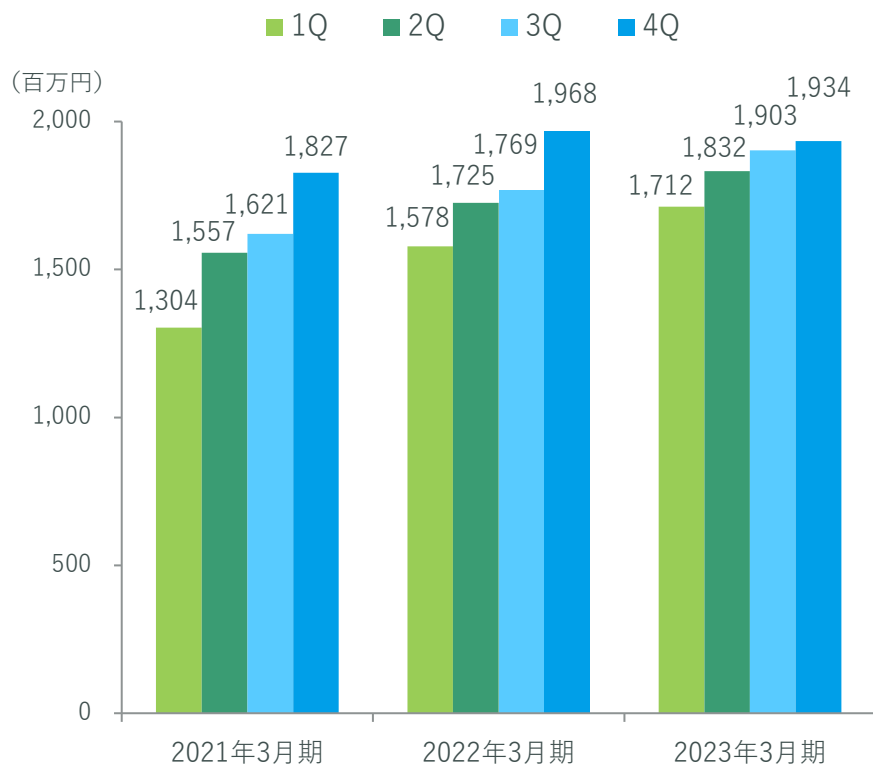
(単位：百万円)

	2013/03	2014/03	2015/03	2016/03	2017/03	2018/03	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3
売上高	4,597	4,708	4,661	4,743	4,634	4,748	5,472	6,245	6,310	7,040	7,381
売上原価・ 営業原価	3,885	3,955	3,902	3,918	3,731	3,746	4,408	4,998	5,197	5,818	6,046
売上総利益	711	753	759	824	902	1,001	1,063	1,246	1,112	1,221	1,335
販売費及び 一般管理費	649	672	582	587	707	749	824	775	761	785	870
営業利益	61	81	177	237	195	251	238	470	351	435	464
経常利益	58	89	191	234	136	258	247	483	382	470	476
当期純利益	1	14	90	81	3	184	154	309	267	253	315

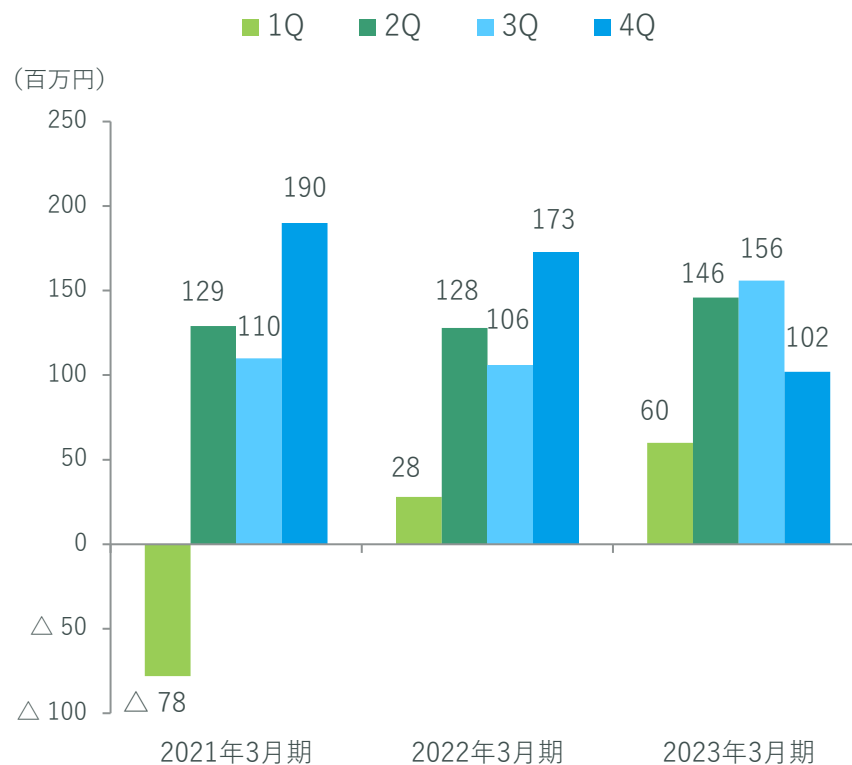
# 四半期別売上高・営業利益推移



売上高



営業利益





# Connect to the Future

## JTP 株式会社

この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております  
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります



© JTP Co., Ltd. All Rights Reserved.